

平成17年 入学試験を施行



学力試験直前、緊張のひとつとき(2月1日・歯学部)

両学部の合格者発表

東京短期大学、初の入学試験

平成十七年度の日本歯科大学入学試験は、一月中旬のセンター試験と二月初旬の本学試験をもって施行し、両学部の合格者を発表した。あわせて新潟短期大学、東京短期大学の入学試験が行われた。



東京千代田区富士見
日本歯科大学新聞会
発行兼 中原 泉
編集人
発行日 偶数月末日
定価 1部10円
編集室 (〒951-8580)
新潟市浜浦町1-8
☎ 025 (267) 1500



本校創立100周年
校友会ロゴマーク

90年前の本学英文パンフ

創立者中原市五郎先生は、大正四年(一九一五)歯科医学教育制度視察のため渡米した。三カ月余の間に、米国主要都市を歴訪して、各地の歯科大学・歯学部、材料会社や開業医の診療所等を、歯科教育の主宰者・実践者の眼で精力的に視察した。写真は、その訪米時に作成した英文学校案内でB6判十六頁。表紙の校章は、Dに「醫」の字が図案化されている。裏表紙には、中原實名誉学長のサインがみられる。(医の博物館・大学記念室蔵)



鴨井教授(東京・歯周病)最終記念講義

本学歯学部歯周病学講座の鴨井久一教授は二月十七日、「歯周治療の現在・過去・未来」と題して最終記念講義を行った。鴨井教授は昭和三十八年本学卒業(第五十二回卒)、助手、講師、助教授を経て昭和五十四年附属病院歯周病科教授に就任。



最終記念講義を行う鴨井教授

平成十七年度の入学試験は例年どおり、大学入試センター利用入学試験(センター試験)と本学(センター試験)と本学で実施する一般選抜入学試験(本学試験)の二本立てで行われた。センター試験は、一月十五日・十六日に、全国のセンター試験会場において一斉に施行され、本学の両学部もその会場となった。センター試験のみ受験した本学の受験生は、一月三十一日に本学

(東京)において面接試験を受験した。本学試験は、例年と同じく二月一日に学力試験、翌二日には面接試験が行われた。受験生は早朝から緊張した面持ちで参集し、学力試験では夕方まで三科目に取りくんだ。二月七日午前十一時、歯学部一号館の一階メモリアルホールに、両学部

の合格者氏名を掲示発表した。掲示発表後、本学ホームページで合格者の受験番号を公開した。追って、一般選抜の後期試験を歯学部では三月五日に実施し、三月七日に合格者氏名を掲示発表した。新潟歯学部では三月十二日に後期試験を実施し、翌十三日に合格者氏名を掲示発表した。

一方、新潟短期大学歯科衛生学科の入学試験は一月二十二日に施行し、二十五日に合格者を掲示発表した。また、本年四月開学する東京短期大学の歯科理工学科と歯科衛生学科の初の入学試験は二月十一日に施行し、十五日に合格者氏名を掲示

平成17年度歯学会大会プログラム

大会会長：関本恒夫(新潟歯学部附属病院院長)
準備委員長：黒川裕臣

平成17年度日本歯科大学歯学会総会・大会を、下記のとおり開催いたします。会員の皆さまの多数のご参加をお待ちしております。日歯生涯研修点数3単位が取得できます。奮ってご参加下さい。

日時：平成17年6月4日(土) 9:50~17:00

会場：日本歯科大学新潟歯学部講堂

メインテーマ：社会のニーズに応える歯科医療

【大会日程】

- 9:50 開会(大会会長挨拶)
- 10:00 (シンポジウム1) 社会のニーズに応える歯科医師の養成
— 歯科医師臨床研修制度—
(座長：関本恒夫)
歯科医師臨床研修制度の必修化に向けて
厚生労働省 平田創一郎
- 歯科診療所における臨床研修
(新潟県歯科医師会)
管理型研修施設と協力型研修施設の連携
歯学部附属病院 住友 雅人
- 質疑応答
- 12:30 休憩
- 13:10 歯学会総会
- 14:10 学術研究奨励賞受賞記念講演
- 14:30 (シンポジウム2) 安心安全な歯科医療をめざして
(座長：新潟県歯科医師会会員)
判例にみる歯科医療事故の法的責任
明治大学 深谷 翼
- 歯科診療に潜む危険
新潟歯学部附属病院 佐野 公人
- 患者からみた安心・安全な歯科医院とは
愛生歯科医院 田口 正博
- 質疑応答
- 17:00 閉会(準備委員長挨拶)

【問合せ】準備委員長・黒川裕臣
(新潟歯学部附属病院総合診療科2 025-267-1500)

最新 歯科医療における院内感染対策 (新刊) —CDCガイドライン—

歯科における院内感染対策ガイドライン検討委員会
監修 佐藤田 麗子(日本歯科大学歯学部口腔外科学講座教授)
B5判・223頁・定価(本体2,300円+税)

世界のスタンダードな最先端の感染予防対策を知る。
歯科臨床現場における待望の一冊

■米国疾病管理予防センターから公表された「歯科医療における感染管理のためのCDCガイドライン」に、臨床に役立つ過去の文献を加えた最新のガイドライン。



永末書店
東京本社：東京都中央区五洲通大富町5丁目69-2
TEL (075) 415-7280 FAX (075) 415-7290
東京店：東京都台東区上野1-18-11 高層ビル4F
TEL (03) 3831-5211 FAX (03) 5818-1375

平成十六年度卒業生

大学院

第42回修了生

日本歯科大学大学院第四十二回修了生(歯学研究科)九名は、次の通り。
歯周病学 本山聖子
解剖学I 井出吉昭
生理学 角井 淳
解剖学II 犬飼善雄
矯正学 中原千絵
小児歯科学 藤武貴尚
理工学 山崎恵理香
補綴学II 富田祥子
薬理学 鈴木盛仁
日本歯科大学大学院第四十二回修了生(新潟歯学研究科)六名は、次の通り。
硬組織粘膜炎比較形態学 鄭 金華
咀嚼分泌神経学 Oskutytte Diana



口腔材料開発工学 屋良 篤
口腔材料開発工学 Chumitaprom Ponkai
口腔組織機能治療学 田中幹久
硬組織機能治療学 鈴木雅也 (甲八九二号まで)

学位記授与者

論文提出による学位記授与者四十一名は、次の通り。
理工学 高木邦明
理工学 大寄紀子
歯周病学 吉田昌弘
放射線学 岡谷 進
放射線学 小野寺哲夫
小児歯科学 眞田一宏
衛生学 榊原健治
薬理学 廣瀬 裕
保存学I 新井真澄
保存学I 郷田英臣

大学

第94回卒業生

日本歯科大学第九十四回卒業生(歯学部)九十四名は、次の通り。
秋庭 崇 秋山洋平
我妻慶一郎 安齋 聡
石上大輔 井出良治
伊藤勝吾 伊藤菜穂
岩田典子 上杉容子
植田真梨子 上野紘佑
大熊麻紗子 大嶋寛之

横田 純 大坪真実
長谷川和貴 岡村 尚
中野みゆき 荻野文子
渡辺康広 尾崎研一郎
鈴木宏昭 片岡彩乃
竹本真一郎 片桐陽香
湊 隆夫 川島久枝
山崎耕一郎 菊池美穂
保存学II 山崎耕一郎
衛生学 山口直彦
歯周病学 高柳和明
歯周病学 茂田圭弘
衛生学 齊藤秀樹
麻酔学 中村仁大
総合診療科I 児玉実穂
生化学 小峰信広
麻酔学 高橋賢太郎
歯周病学 澤口政治
生理学 高橋秀夫
補綴学III 原田美紀
微生物学 倉澤郁男
小児歯科学I 田中一郎
小児歯科学I 清水栄哉
歯周病学 遅沢弘明
薬理学 小林盛生
解剖学II 辻村俊也
補綴学II 水戸部千春
補綴学II 四條貴隆
衛生学 吉川泰一
保存学II 吉川泰一
衛生学 石井瑞樹
口腔外科学II 安井新紀
口腔外科学II 梅澤義一



松岡正浩 松本晃子
真鍋桃子 宮本重樹
村井洋平 山嶋敦盛
山田貴史 吉野園子
若松美江 渡部 学
渡辺麻里 渡辺竜太
岩淵知恵 大村伸介
鈴木俊吾 新村明子 (第一八七二号まで)
☆学術優秀賞受賞者☆
藤田源太郎 乗田智孝
定山佳弘 五島健一
上杉篤史 町田章彦
石橋真由子 武田雄一
☆皆勤賞受賞者☆
石橋真由子 竹田ちほ

新潟歯学部歯科放射線学講座の土持眞教授らは、二〇〇四年ヨーロッパ核医学会賞(EANM)を受賞した。
☆学術優秀賞受賞者☆
藤田源太郎 乗田智孝
定山佳弘 五島健一
上杉篤史 町田章彦
石橋真由子 武田雄一
☆皆勤賞受賞者☆
石橋真由子 竹田ちほ

土持教授ら(新潟・放射線)ヨーロッパ核医学会最優秀論文賞を受賞
新潟歯学部歯科放射線学講座の土持眞教授らは、二〇〇四年ヨーロッパ核医学会賞(EANM)を受賞した。
☆学術優秀賞受賞者☆
藤田源太郎 乗田智孝
定山佳弘 五島健一
上杉篤史 町田章彦
石橋真由子 武田雄一
☆皆勤賞受賞者☆
石橋真由子 竹田ちほ

多和田泰一名誉教授逝去
本学名誉教授の多和田泰一先生は、二月十七日、新潟歯学部附属医療病院で逝去された。享年九十歳。
多和田名誉教授は明治四十一年に東京青山に生まれ、昭和五年三月本学卒業(第十九回卒業)。歯補綴架工義歯学を専攻され、三十二年十月歯科補綴学教室第二講座教授、四十七年四月新潟歯

岩久 正明
吉田 隆一
村上 俊樹
日本歯科大学教員評価委員会を委嘱する
平成十七年一月、日本歯科大学教員評価委員会を委嘱する